

— 資 料 —

神戸女子短期大学食堂2階のリフォームについて その3

本 保 弘 子

Redecoration of the Dining Area on the Second Floor of
Kobe Women's Junior College, Part Three

Hiroko HOMBO

要 旨

平成26年度の学生部食堂改善部会では、看護学部新設に伴い食堂2階東側のリフォームによる席数増加が検討された。筆者は学生の意見を取り入れたリフォーム案3案を食堂改善部会に提案し、そのうちの 하나가採用となった。平成23年度に採用された食堂2階西側リフォーム案と同様に、今回もキャンパススペースに関する学生満足度を向上させるために、女子学生にとって居心地の良い居場所空間の充実を提案したものである。

キーワード：キャンパス計画 campus planning

憩いの場 place of recreation and relaxation

居場所 place

1. はじめに

平成23年度には神戸女子短期大学食堂2階西側スペースのリフォーム計画案を学生部食堂改善部会に提出し、採用された¹⁾。平成24年度には、食堂2階厨房設備撤去工事後のスペース利用として、他大学の多くが設置しているパウダーコーナーを提案した²⁾が、採用には至らなかった。

平成26年度には、食堂2階東側のミニコンビニと保健室を移動して食堂スペースを広げ、看護学部新設に伴う席数増加の必要に対応することとなった。リフォームを検討する学生部食堂改善部会に対し、筆者は学生の意見を取り入れてリフォーム案3案を提出した。そのうちの 하나가採用され、平成26年度末に食堂2階東側リフォームの実施となった。

キャンパススペースは、学びの場であると同時に学生の生活の場である。それに加えて、女子短期大学、女子大学のキャンパススペースのデザインは、女子学生の目線で決めるべきであると考えられる。そのため、今回のリフォーム案は、女子学生の意見を参考としたものである。女子短期大学、女子大学の「食堂」は、女子学生の憩いの場と学びの場を兼用する「学生食堂」であり、決して「教職員食堂兼学生食堂」ではない。

食堂2階のリフォームに関して、前回²⁾と前々回¹⁾の提案に引き続き今回もキャンパススパー

スに関する学生満足度を向上させるために、女子学生にとって居心地の良い居場所空間の充実を提案したものである。

2. 平面計画案

図1は、食堂2階リフォーム計画案平面図である。

(1) 食器返却コーナー、給湯・給茶機置場、電子レンジ・トースターのカウンター

平成26年度学生部食堂改善部会の会議では、平成23年度にリフォーム済の西側を含めた食堂2階全体の利用方法が協議された。その一つは、1階食堂返却コーナーと1階通路の混雑回避、2階出入口利用促進など学生の利便性を計る目的で、食堂2階中央部分に食器返却コーナー、シンクと大きなゴミ箱置場を設けることである。中央部分に利便性に優れた設計提案はできたが、返却された食器を1階へ運ぶ人員または荷物用エレベーターのどちらも都合がつかなかった。返却スペース、ゴミ箱置場は確保して、シンクを設置することになった。現在、返却スペースとして確保したところには飲み物の自動販売機が設置されている。

その他は、カップラーメンに適した90°以上の給湯・給茶機、電子レンジ・トースターのカウンター、お弁当・パン売り場が会議では設置すべきとされた。現在、平面図で示す位置に給湯・給茶機とカウンターは設置されている。しかし、お弁当・パンの食堂2階での販売は実現していない。販売スペースとしては、平面図に示したゴミ箱置場のゴミ箱を販売時間限定で階段近くまたは手洗シンク近くに移動すれば、そこでスペースを確保できる設計計画となっている。

(2) ほっち席

「ほっち席」とは、1人で利用しやすい席のことである。他大学では、6人用長方形テーブルの中央を仕切る形で高さ50cmほどのパネルを取り付けて、1人でも2人でも3人でも利用しやすい席を設けている³⁾。パネルを取り付けた「ほっち席」は「スピード席」と言われることもあり、食堂の利用効率が向上し混雑の緩和も期待できる。

学生部食堂改善部会では「ほっち席」の必要性について意見が分かれ、共学と異なり女子短大、女子大ではあまり必要でないという意見が多かった。平成25年度学生部学生懇話会で学生代表から「1人になれる場所が欲しい。」という要望・意見があったことも参考とし、テーブルにパネルの設置ではなく、壁際と窓際に1人席は7席、2人席は18席の設置となった。

(3) 椅子とテーブル配置

表1に椅子・テーブルリストを示す。2階東側で139席の計画である。リフォーム済の2階西側171席と合わせて2階食堂は310席となる。

① 6人用テーブル18台、108席

昼食時の座席をスペース効率良く多く配置する必要から、6人用長方形テーブル2台を9列並べて計18台、108席をここで確保する。テーブルの列の間隔は1550mmとすると、両側に着席してその間を通行できる寸法となる。階段側5列と奥の4列の間は、返却コーナーとして計画したスペースへのスムーズな移動ができるように1800mmとした。

② 1人用テーブル7台7席， 2人用テーブル9台18席

東側の窓に面したスペース， 南側と北側の壁に面したスペース， 階段の東側壁に面したスペースは， (2)「ほっち席」で述べたように1人席テーブル7台7席， 2人用テーブル9台18席の設置とした。この1人席， 2人席の一部をカウンター席とすることもスペース利用計画としては可能であった。しかし， 1人席， 2人席の必要性が食堂改善部会で少数設置は認められたことに加えて， リフォーム済でカウンター席のある西側とは異なり， 東側の窓から外の良い景色は望めないことがこの配置の理由である。

③ 6人用丸テーブル1台6席

北出入口に近いスペースは， リフォーム済の西側スペースから最も見通すことができ， 東側と西側が繋がるスペースである。リフォーム済の西側の北出入口に近いスペースは， コンパクトサイズではあるがソファータイプの椅子を配置したラウンジ風のエリアとしている。そこからのインテリアスペースとしての連続性から少しゆったり感のある雰囲気を考えて， 6人用丸テーブル1台6席の配置とした。

表1 椅子， テーブルリスト (食堂2階東側) 単位 mm

	幅 W	奥行 D	高さ H	座面 SH	数量
イームズシェルチェア	465	550	810	415 (座位基準点)	25
ピンク ブルー				430 (前方最高さ)	
シェル型チェア	475	510	780	420 (座位基準点)	108
オフホワイト				420 (前方最高さ)	
	イス				計 139
6人用長方形テーブル	1800	750	700		18
2人用長方形テーブル	600	800	700		9
1人用長方形テーブル	600	400	700		7
6人用円形テーブル	φ1200		700		1
	テーブル				計35

3. 椅子の選択と配置

(1) 椅子の選択

表1に椅子・テーブルのリストと寸法を示す。

食堂2階東側は， リフォーム済の西側スペースから見え隠れる場所なので， インテリアコーディネートとしては関連性を持たせたいところである。連続したインテリアスペースとして違和感のないものとしたい。リフォーム済の西側の窓に面したランチカウンターには33席のイームズシェルチェアのレッド， そこに隣接するスローランチエリアには丸テーブル7台に各4席で計28席のイームズシェルチェアのアーム付のブルーが設置済である。そこで， 食堂2階東側にも， イームズシェルチェアを選択したい。筆者は下記の①， ②のイームズチェアを主に使いたい椅子として推薦し， 予算調整のための椅子として③を選択した。

①イームズシェルチェア DSR くすんだピンク

座面の高さは、最も低い位置が座位基準点と一致して415 mm であり、身長150～165 cm で靴のヒールが2～5 cm の女子学生に適した寸法である。座面前方最高高さは430 mm とやや高い。

色はくすんだピンクとする。この色はポートアイランドキャンパスの建物に使われている上品なくすんだピンクに近い色であり、キャンパスデザインのテーマカラーとも言える色である。そしてイームズシェルチェアの2014年の新色である。

脚部はエッフェルベースと呼ばれ、細いスチールの組み合わせで座面を支持する合理的な美しさが評価されている DSR を選択した。

②イームズシェルチェア DSR アクアスカイ

6人用丸テーブルに色違いでコーディネートする椅子としてイームズシェルチェア DSR アクアスカイを選択した。

③シェル型チェア オフホワイト

座面の高さは、座位基準点と座面前方最高高さがともに420 mm であり身長150～165 cm で靴のヒールが2～5 cm の女子学生に適した寸法である。

デザイナーズチェアではないが、イームズシェルチェアと同様に背と座がポリプロピレン一体成型であり、①、②とのコーディネートに違和感が少ない。低価格商品であり予算調整用として選択した。

(2) 椅子の配置計画、コーディネート3案

図2は、西側から見た椅子・テーブル配置計画のA案、B案、C案をパースで示す。図3は、南側から見た椅子・テーブル配置計画案のC案をパースで示す。

①A案

・イームズシェルチェア（ピンク）

6人用テーブル南側5列10台の60席，丸テーブル6席，計66席

・イームズシェルチェア（アクアスカイ）

6人用テーブル北側4列8台の48席

・シェル型チェア（オフホワイト）

1人用テーブル7台7席，2人用テーブル9台18席，計25席

②B案

・イームズシェルチェア（ピンク）

6人用テーブル北側4列8台の48席

1人用テーブル7台7席，2人用テーブル9台18席，計73席

・イームズシェルチェア（アクアスカイ）

丸テーブル6席

・シェル型チェア（オフホワイト）

6人用テーブル南側5列12台の60席

③C案

- ・ イームズシェルチェア（ピンク）
1人用テーブル7台7席， 2人用テーブル9台18席， 計25席
- ・ イームズシェルチェア（アクアスカイ）
丸テーブル6席
- ・ シェル型チェア（オフホワイト）
6人用テーブル南側5列と北側4列計18台の108席

学生部食堂改善部会への提案の参考意見とする目的で，総合生活学科2年33名から椅子4つとコーディネート3案についての評価に協力を得た。

椅子については，(1)椅子の選択で説明した①，③の2つ椅子，コーディネート3案に採用しなかったシェル型チェア（ブルー ①，②，③とは別メーカーの商品），食堂1階の椅子（オフホワイト），あわせて4つの椅子の評価をお願いした。椅子の評価用語としては，「好き」，「美しい」，「オシャレな」，「カワイイ」，「女子大らしい」，「すわり心地が良い」とし，実物に座ってみて，評価を回答用紙に記入してもらった。その結果は，評価が高いものから順にイームズシェルチェア（ピンク），シェル型チェア（オフホワイト），食堂1階の椅子（オフホワイト），提案しなかったシェル型チェア（ブルー）であった。

コーディネート3案の評価は良いと思うもの，次に良いと思うものを選択してもらった。その結果は，A案が最も評価が高く次がB案となった。C案は3位であったがB案との評価の差は少なかった。

筆者は学生の意見を参考として，椅子の評価が高いイームズシェルチェア（ピンク）を多く採用し，コーディネートの評価も高いA案を1番に推薦した。しかし，テレビや給湯・給茶機など設備機器への予算配分の都合から，学生部食堂改善部会では，筆者が提案した3案と複数の家具販売業者提案のなかから最も見積金額が低い筆者のC案が採用となった。

リフォーム計画案の作成と検討，実施にあたっては，施設課，学生課，平成26年度学生部食堂改善部会，総合生活学科2年学生その他関係者の方々にご協力いただいた。記して感謝の意を表する。

参考資料

- 1) 本保弘子：神戸女子短期大学食堂2階のリフォームについて，神戸女子短期大学「論攷」第57巻，65-72（2012.3）
- 2) 本保弘子：神戸女子短期大学食堂2階のリフォームについて その2，神戸女子短期大学「論攷」第59巻，55-63（2014.3）
- 3) 朝日新聞，『ほっち席』気楽にランチ 京大食に1人席ついたてで周囲気にせず，7月27日夕刊（2013.7）

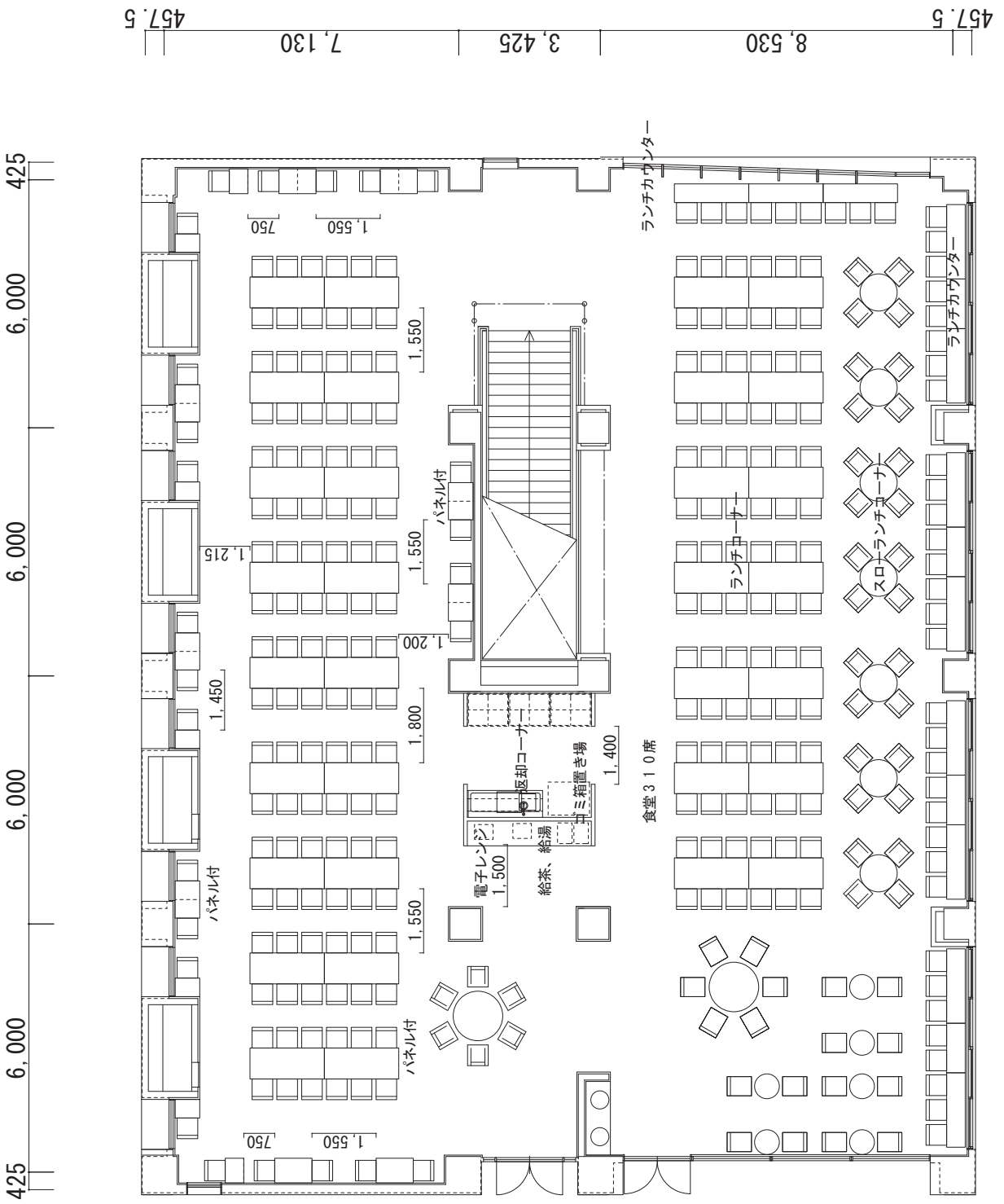
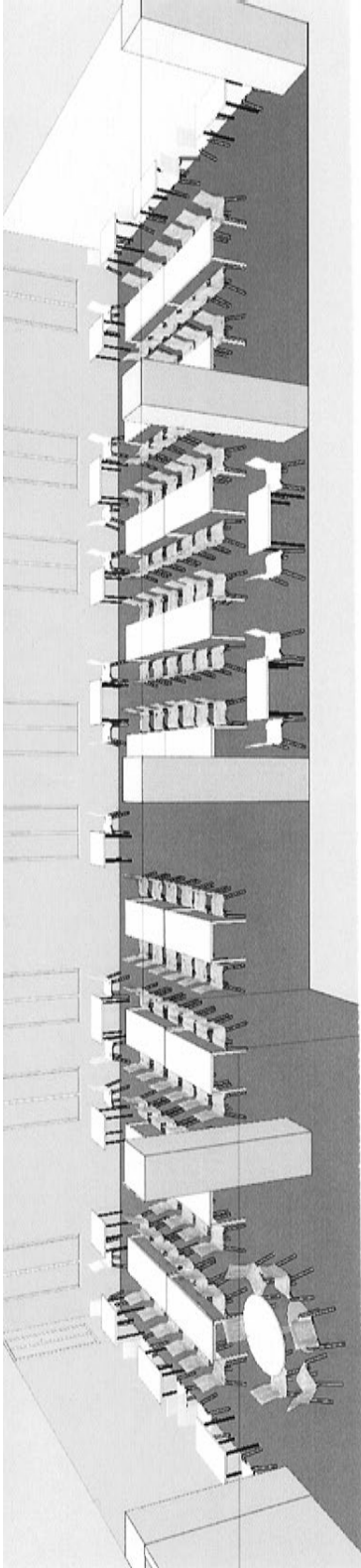
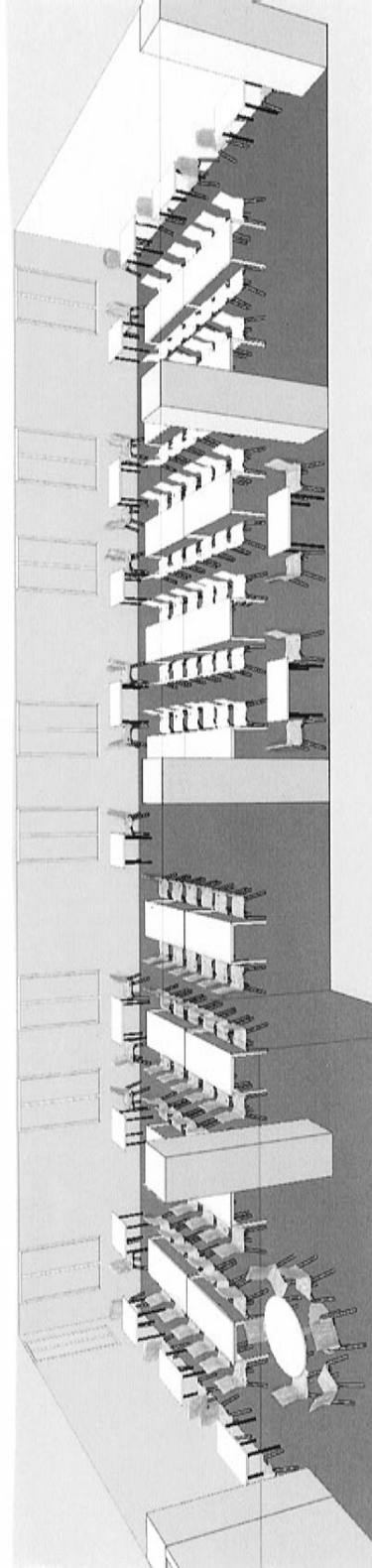


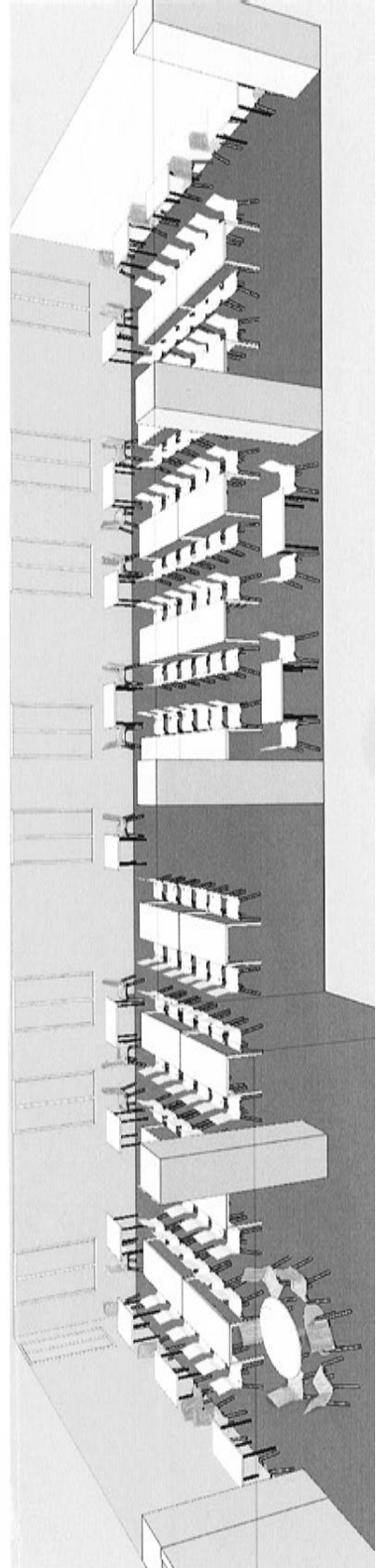
図1 食堂2階リフォーム計画案平面図



A 案



B 案



C 案

図 2 西側から見たA案, B案, C案のハース

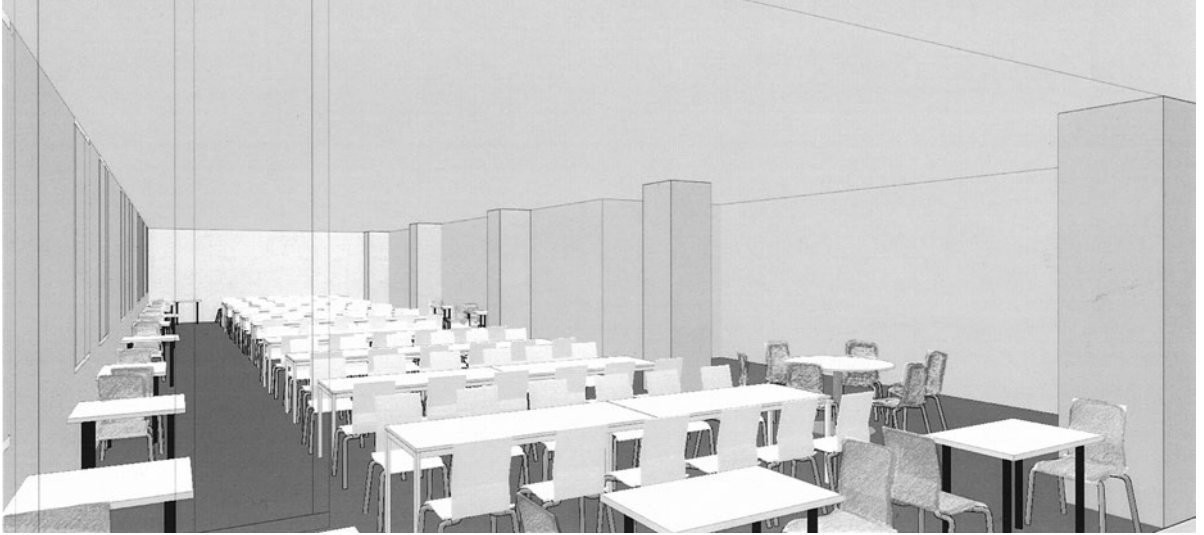


図3 南側から見たC案のパス